出展のご案内

真空

真空でつくる新時代

2019

VA展

CUUM

会期 2019年9月4日(水)~6日(金) 会場 パシフィコ横浜

主催：一般社団法人日本真空工業会　公益社団法人日本表面真空学会　日刊工業新聞社

https://biz.nikkan.co.jp/eve/vacuum/

《真空機器・装置の総合展示会》

技術開発・製品製造・販売など真空技術に関わる企業、研究者の方々が毎年多数来場し、ビジネスに直結する商談が行われております。貴社製品の拡販、新規取引先の開拓のためにぜひご参加、ご活用ください。

一般社団法人日本真空工業会
会長　小日向 久治

VACUUM 2019真空展への出展募集にあたりご挨拶申し上げます。

「真空展」は今回で41回目を迎える歴史ある展示会であり、世界で唯一と言ってよい規模を誇る真空機器・真空装置の総合展示会です。このような展示会を長年にわたり継続開催できたのは、ひとえに皆様のご支援・ご協力の賜物と厚くお礼申し上げます。

真空技術は、半導体、フラットパネルディスプレイ、太陽電池、LEDなどを始め、食品、医療、分析機器、自動車など、ほとんど全ての産業分野を支える基盤技術です。さらに、近年は省エネ・創エネといった地球環境やバイオメディカルなど、真空技術が貢献できる分野はますます拡大し重要性が高まってまいりました。

毎年、広範な産業分野、大学、研究機関から多くの方々が真空関連の新技術を探しに来場される「真空展」は、ニーズとシーズの出会いの場であり、新たな産業創生とビジネスチャンスを見出せる場となっております。

さらに主催者といたしましては、幅広い来場者層にご満足いただくため、セミナーを中心に毎年趣向を凝らした様々な併催事業を企画しております。真空を利用し始めたばかりの真空初心者に向けた「真空の入門講座」から、真空応用技術として最も幅広い産業分野で利用されている「薄膜作成の基本技術と最新事情」、真空関連技術の最先端を紹介する「真空シンポジウム」、これから期待される真空産業を紹介する「真空フォーラム」など、毎年人気となる企画を開催いたします。

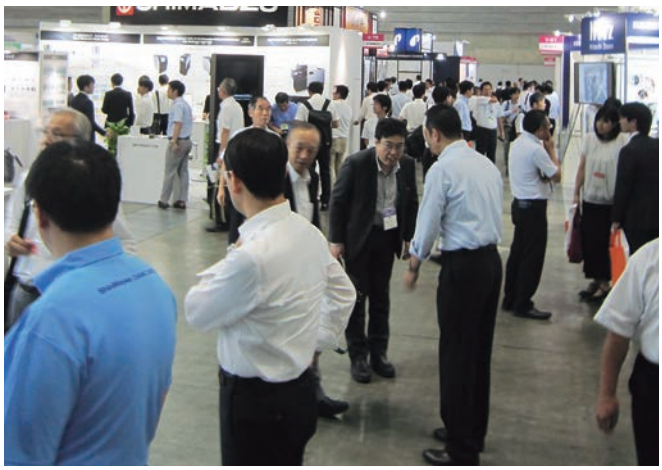
今回の「真空展」は、「真空技術」と同様に幅広い産業の基盤を支えている「洗浄総合展」、「高精度・難加工技術展」、「表面改質展」および「先端材料技術展」と共同開催し、新たなビジネスチャンスを求めることと致しました。お互いの出展社が新たな顧客を獲得する間口を広げ、今まで以上にビジネスチャンスの拡大が図れる展示会になると確信しております。40回の歴史を経て、また新たに生まれ変わる「真空展」にご期待ください。

皆様と共に次の時代を切り開く活力ある展示会を開催し、皆さまの期待により一層応えてまいりたいと考えております。是非とも多くの企業・団体の皆様のご出展を賜りますようお願い申し上げます。

敬白

開催概要

名　称	VACUUM2019真空展
テーマ	「真空でつくる新時代」
主　催	一般社団法人日本真空工業会、公益社団法人日本表面真空学会、日刊工業新聞社
後　援 (申請予定先)	経済産業省、文部科学省、日本貿易振興機構(ジェトロ)　(順不同、法人格略)
協　賛 (申請予定先)	新金属協会、日本化学会、日本科学機器協会、日本工業炉協会、日本産業洗浄協議会、 日本電気計測器工業会、日本半導体製造装置協会、日本分析機器工業会、 IDEMA JAPAN(日本HDD協会)、日本電子回路工業会　(順不同、法人格略)
協　力 (申請予定先)	応用物理学会、化学工学会、計測自動制御学会、次世代センサ協議会、低温工学超電導学会、電気学会、 電子情報通信学会、日本缶詰協会、日本機械学会、日本金属学会、日本顕微鏡学会、日本材料学会、 日本生化学会、日本チタン協会、日本鉄鋼協会、日本発明振興協会、日本表面科学会、日本分析化学会、 日本放射光学会、表面技術協会、腐食防食協会、プラズマ・核融合学会　(順不同、法人格略)
会　期	2019年9月4日(水)～6日(金)　10:00～17:00
会　場	パシフィコ横浜
入場料	1,000円　(事前登録者、招待券持参者、中学生以下は無料)
同時開催展	「2019洗浄総合展」 「高精度・難加工技術展2019」 「表面改質展2019」 「SAMPE Japan 先端材料技術展2019」



真空展 会場風景

会場レイアウト（予定）

パシフィコ横浜にて5つの展示会と相互入場を実施!!

目標来場者数 50,000名（同時開催展含む）

A・B・C・Dホール

高精度・難加工技術展2019

表面改質展2019

VACUUM2019真空展

sampe Japan

先端材料技術展2019

2019 洗浄総合展

出展対象

真空ポンプ	低真空～中真空ポンプ（油回転ポンプ、ドライポンプ他）、 高真空ポンプ（ターボ分子ポンプ、クライオポンプ他）、超高真空ポンプ、真空排気装置
真空計測器	ピラニ真空計、電離真空計、極高真空計、薄膜計測、制御機器、分光エリプソメータ、 プラズマモニタ
真空部品・材料	真空バルブ、真空スイッチ、各種導入端子、真空ポンプ油、成膜材料
真空冶金装置	真空溶解関連、真空熱処理関連、真空接合、真空改質関連
真空化学装置	真空乾燥、凍結乾燥、蒸留、濃縮、脱臭、真空冷却、真空重合関連
真空薄膜形成加工装置	蒸着、スパッタリング、ドライエッチング、アッシング、イオン注入、CVD、エピタキシャル成長
ガス分析装置	磁場型質量分析計、マスフィルタ型質量分析計、微量ガス分析装置、電子衝撃発光分光装置
表面分析装置	電子検出型質量分析装置、光電子分光分析装置、オージェ電子分光装置、電子回析装置、 その他の表面分析装置、イオン検出型質量分析装置、二次イオン質量分析装置、 イオン散乱分析装置、その他のイオン検出型表面分析装置、X線検出型質量分析装置、 X線回析装置、電子線マイクロアナライザ、その他のX線検出型表面分析装置
試験装置	自動濡れ探し機、スペースチャンバー、真空引帳・圧縮試験機、その他試験機
表面観察装置	走査型トンネル顕微鏡、走査型電子顕微鏡、透過型電子顕微鏡
その他の真空利用装置	液晶注入、真空包装、真空充填、真空吸着、エポキシ注型、真空含浸、真空リフター、 真空プレス、真空ピンセット、プラズマクリーニング
サービス業務	保守業務、修理・改造、指導・ソフトウェア、中古リサイクル販売、委託加工
要素機器	各種電源、空圧機器（アクチュエータ）、シーケンス制御機器、機構部品、物流制御機器

出展要領

■出展料金（税込）

（１小間約９㎡／間口2.97m×奥行2.97m×高さ2.7m）

≪日本真空工業会及び日本表面真空学会会員企業≫

１～４小間・・・・・・・・・・**322,500**円
５～７小間・・・・・・・・・・**279,300**円
８小間以上・・・・・・・・・・**246,900**円

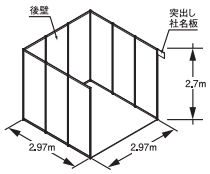
≪一般企業≫

１小間・・・・・・・・・・・・・**344,100**円

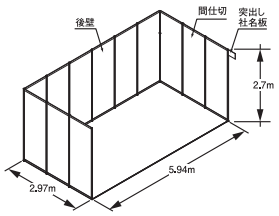
■横列小間

- 1小間の寸法は、間口2.97m×奥行2.97m×高さ2.7mとします。
- 後壁、間仕切り、突出し社名板（横45cm×縦30cm）を設けます。
- 後壁、間仕切りは、システムパネル（白色仕上げ）で設置します。
- カド小間の場合は、ご要望がない限り通路側の側壁は設置しません。

横列小間



［例：1小間の場合］
（W2.97m×
D2.97m×H2.7m）



［例：2小間の場合］
（W5.94m×
D2.97m×H2.7m）

※上記の表示は、芯々の寸法となります
※カーペットはついておりません。

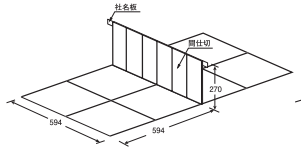
■複列小間（4小間以上）及び島小間（原則8小間以上）

※申込状況によっては、ご希望に添えない場合がございます。

- 小間の面積及び間口寸法・奥行寸法は、イラストの小間様式を参考にしてください。
- 間仕切り、突出し社名板（横45cm×縦30cm）を設けます。（複列小間のみ）
- 社名板は、事務局により各小間の装飾完成後、見やすい位置に取り付けます。
- 原則8小間以上より島小間を申し受けます。
- 島小間の位置・寸法表示は、床上に見やすい目印を付けます。

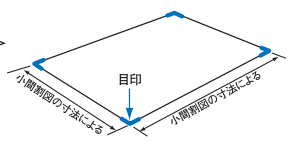
複列小間

3方通路で奥行きが2小間以上



［例：4小間の場合］
※カーペットはついておりません。

島小間



※角小間の場合は、出展者の要望がない限り、通路側の壁はありません。

■特別企画ゾーン

A.真空展トライアルゾーン

1小間：間口2.97m×奥行1.98m（約6㎡）　**270,000**円（税込）
［対象］真空展へ過去5年間以上、出展実績のない企業・団体、初出展企業・団体

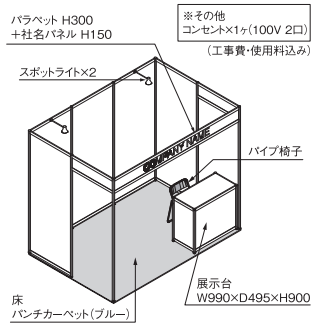
B.大学・研究機関ゾーン

1小間：間口1.98m×奥行1.98m（約4㎡）　**108,000**円（税込）
［対象］真空に関する研究、真空に関連した開発中の製品・技術を持つ学術・研究機関

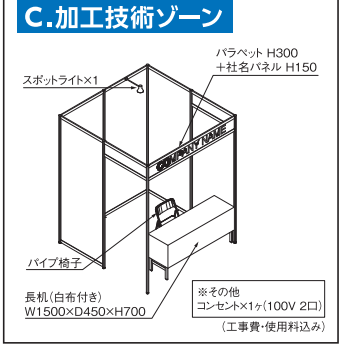
C.加工技術ゾーン

1小間：間口1.98m×奥行1.98m（約4㎡）　**108,000**円（税込）
［対象］真空装置に関する加工技術（精密加工、金属加工、切削加工、溶接加工等）

A.真空展トライアルゾーン



B.大学・研究機関ゾーン
C.加工技術ゾーン



■出展料金のお支払い

申込書の内容を確認後、請求書を送付いたしますので、本展開催日の1ヶ月前の2019年8月2日（金）までに下記の金融機関にお支払いください。

口座名：（株）日刊工業新聞社

- りそな銀行 ――― 東京営業部　当座　656007
- みずほ銀行 ――― 九段支店　当座　21049
- 三菱UFJ銀行 ――― 神保町支店　当座　9000445
- 三井住友銀行 ――― 神田支店　当座　1023771

■出展契約の変更または取り消し

すでに申し込まれた小間に対する変更または取り消しは、全て文章にてその理由を明記し、事務局の承認を得てください。

※出展を取り消された場合、下記の通りキャンセル料を申し受けます。

申込日～出展者説明会（7月上旬開催予定）前日まで・・・・・出展料金の50%
出展者説明会当日以降 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・出展料金の100%

■申込書送付先

日刊工業新聞社 業務局 イベント事業部
「VACUUM2019真空展」事務局
〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1
TEL：03-5644-7221　FAX：03-5641-8321
E-mail：j-event@media.nikkan.co.jp

■申し込み締め切り

2019年6月7日（金）

出展者セミナー

「VACUUM2019真空展」出展者セミナー（出展者による製品・技術説明会）

会場	「真空展」内特設会場
会場の概要	○ 形　　式　シアター形式 ○ 収容人数　100名 ○ 備　　品　演台、PC、プロジェクター、マイク、スクリーン、レーザーポインターを各一台。
申込料金	無料　1セッション40分以内（質疑応答含む）
募集時間枠	9月4日（水）～ 6日（金）で17セッション ※原則として申し込み先着順でスケジュールを決定し、重複した場合は事務局で調整させていただきます。
注意事項	・セミナーの発表会社は、「真空展」の出展者に限らせていただきます。 ・参考資料などは発表会社で準備、配布をしてください。 ・聴講料は、すべて無料とさせていただきます。
申込締め切り	2019年6月7日（金）

タイムスケジュール

	9月4日（水）	9月5日（木）	9月6日（金）
10:30～11:10	A	G	L
11:30～12:10	B	H	M
12:30～13:10	C	I	N
13:30～14:10	D	J	O
14:30～15:10	E	K	P
15:30～16:10	F		Q

来場プロモーション

紙面報道と連動した継続的な来場プロモーションにより、ユーザーとなる関係者を動員します。

日刊工業新聞紙上にて出展者の技術紹介を行うほか、真空製品・技術に関する最新動向を取材して情報発信します。紙面と連動してイベントを展開することにより、全産業の購読者に対してPRを行ってまいります。メディアミックスによる情報発信と的確な来場動員します。

新聞

総合産業情報紙「日刊工業新聞」で全国全産業のユーザーに対して告知・動員を図ります。社告や広告はもとより、開催前の出展企業の紹介、会期に合わせた特集記事などを通じて、エンドユーザーの確実な来場につなげます。

招待券

独自のDMリストを用いて、国内の関係企業や後援・協賛団体などに本展の招待券を送付します。また、出展者には、本展の招待券を希望枚数に応じて無料提供し出展者の来場動員をサポートします。

インターネット

日刊工業新聞社のWebサイトhttps://www.nikkan.co.jp（月間、ページビュー約800万）上で事前来場動員PRをはじめ、出展者の出展物紹介を行います。

ポスター

関係各企業、日刊工業新聞社本・支社、支局などにポスターを配布し、掲出を依頼します。

E-mail

日刊工業新聞社の展示会、セミナー・フォーラム受講者などを基に構築したデータベースを使用し、約14万件にE-mailで開催案内を行います。

ニュースリリース

本展に関する情報を掲載したニュースリリースを、報道機関などに送付します。

その他

日刊工業新聞社が発行している「工場管理」、「機械設計」にも記事依頼及び広告掲載をします。

スケジュール

6月7日(金)	出展申込締切
7月上旬	出展者説明会、小間の割り当て
8月上旬	諸届け提出期限
9月2日(月)・3日(火)	搬入・装飾施工
9月4日(水)～6日(金)	会期
9月6日(金)	会期終了後、即日搬出

※出展者説明会を7月上旬に開催いたします。本説明会では、小間割の発表、搬入・出作業、装飾、防火・防炎、電気工事などの諸規定・諸注意を「出展マニュアル」に基づきご説明いたします。

併催事業(予定)

真空の基礎技術から応用技術まで幅広いテーマでシンポジウムやセミナーを実施しており、毎年多くのユーザーの方々が展示会見学と併せてセミナーに参加しております。

- 基調講演
- 真空入門講座
- 超高真空技術講座
- 真空フォーラム・シンポジウム
- 環境トピックス
- 規格標準報告会
- 学生ツアー
- 主催者展示ゾーン
- 出展者セミナー
  (出展者による製品・技術説明会)

展示会・来場者データ

■開催実績(前回2018年)

●出展規模

出展者数	86社・団体
出展小間数	188小間

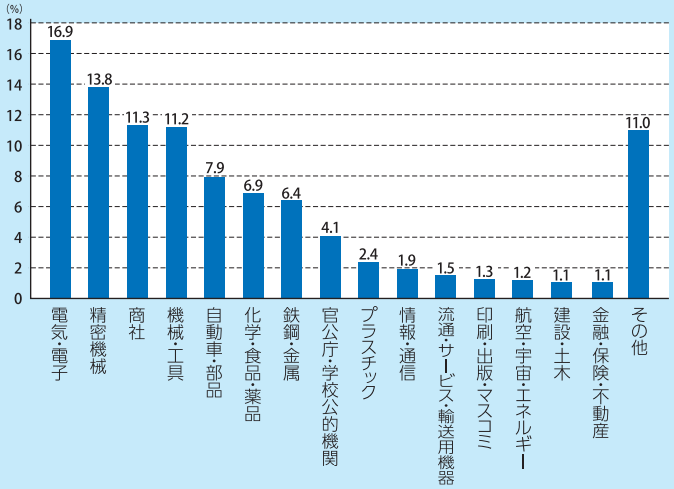
●入場者数

開催日	天 候	人 数
9月5日(水)	曇りのち晴れ	3,610名
9月6日(木)	曇り	4,332名
9月7日(金)	曇り	6,718名
合 計		14,660名

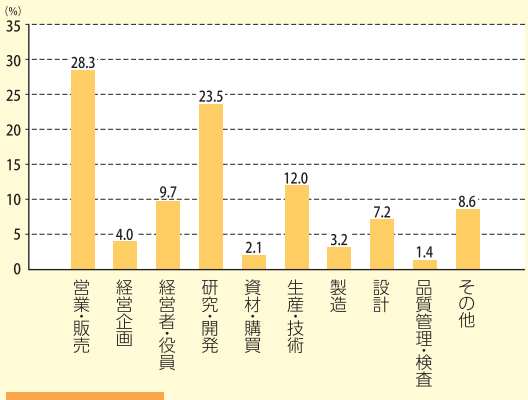
※同時開催展の来場者含む。
(難加工技術展2018／先進加工プロセス展2018／表面改質展2018)

■来場者アンケート集計結果

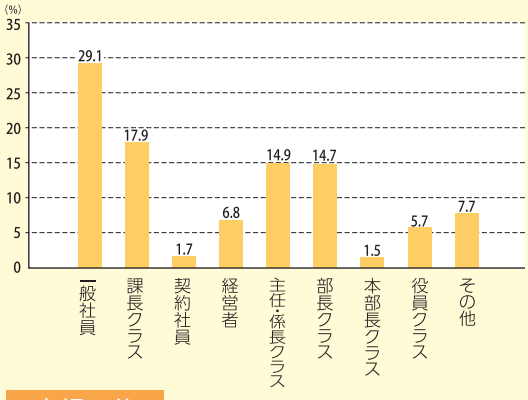
業 種



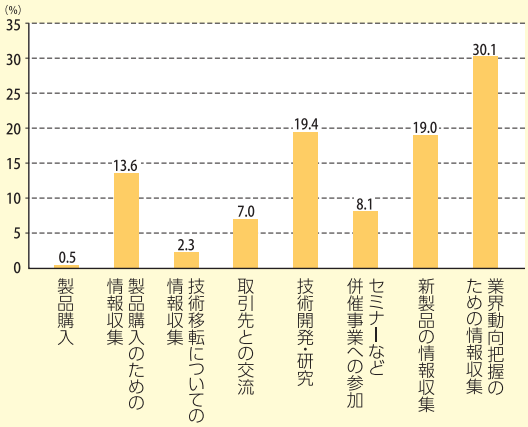
職 種



役 職



来場目的



過去3回（2016～2018年）出展企業・団体一覧

※共同出展者

あ

アールバキュームラボ／葵製作所／赤田工業／アジレント・テクノロジー／ USTRON ／アネット／アミリア・ジャパン／アリオス／アルバック／アルバック機工／アルバック九州／アルバック・クライオ／アルバックテクノ／アルバック販売／昭和真空／アローズ／石山ネジ／入江工研／インフィコン／エヌ・ティー・エス／エドワーズ／ Gamma Vacuum ／荏原製作所（※荏原フィールドテック）／エムケーセラ／大阪真空機器製作所／大村技研／岡崎製作所／オプトラン／オリオン機械（※東日本オリオン）

か

キッツエスシーティー／キヤノンアネルバ／熊本県／ケイ・エム技研／京浜ラムテック／コスモ・テック／コフロック／コベルコ科研／韓国真空技術研究組合（※RF POWERTECH，※ASFLOW CO.,LTD.，※ALPHAPLUS Co., Ltd.,※INFOVION Inc.,※韓国丸井，※タサンENG,※PSTEK Co.,Ltd.）

さ

佐藤真空／産業タイムズ社／産業技術総合研究所 計量標準総合センター 圧力真空標準研究グループ／ＪＦＥ商事エレクトロニクス／芝浦メカトロニクス（※芝浦エレテック）／島津製作所／写真化学 プロダクトカンパニー／上海翔卓真空軟管／昭和螺旋管製作所／シンクロン／神港精機／新明和工業／SCREENファインテックソリューションズ／スプリード／住友重機械工業／ゼネラル物産

た

大成技研／大亜真空／第五電子工業／大同機械製造／中外炉工業／中山泰維電子／ＷＴＭ／椿本興業／テクノポート／テクノロジーリンク／東莞市欧莱溅射靶材／東京電子／東和工業／トヤマ

な

ナイス／中家製作所／ニッタ／日本エリコンライボルト／日本電子

は

ハイテック・システムズ／ Htc.co ／伯東／原田産業／ GVJ Inc. ／バルカー・ガーロック・ジャパン／ＶＩＳＴＡ（※Telemark,Inc.）／日立造船／ひびき精機／ＶＩＣインターナショナル／フィジックステクノロジー／フォーユー／ Photo electron Soul ／フジキン／富士交易（※Gencoa Ltd.）／フジ・テクノロジー／フジ電科／ＶＡＴ／北京天地精儀科技有限公司／ペガサスソフトウェア／堀場エステック

ま

牧野フライス製作所／マルマエ／みずほ銀行／メタルヒート

や

やまぐち産業振興財団／ヤマト

ら

ライボルト／リガク／リッチモアインターナショナル

英

Zhejiang Value Mechanical & Electrical Products Co.,Ltd.

アクセス

パシフィコ横浜 で 検索

＊ご利用施設、道路状況によって所要時間は異なります。
＊乗換時間は含まれておりません。

▼みなとみらい駅より

みなとみらい駅より徒歩5分
（みなとみらい線（東急東横線・副都心線直通））
クイーンズスクエア横浜連絡口よりB3Fより2Fにお進みください。雨にぬれずにアクセスできます。

▼桜木町駅より

桜木町駅より徒歩12分、バスで11分、タクシーで5分
（JR京浜東北線・横浜市営地下鉄）
動く歩道をご利用ください。
雨にぬれずにアクセスできます。（一部施設は除きます）

▼横浜駅より

〈タクシーで〉
タクシー乗り場は、東口ポルタ（地下2F）
または、YCATをご利用ください。（約10分）

〈シーバスで〉
東口のベイクォーター（ショッピングモール）より、
「ぷかりさん橋」で下船（約10分）

〈電車で〉
みなとみらい線でみなとみらい駅まで、
またはJR京浜東北線で桜木町駅までおいでください。

主催

一般社団法人日本真空工業会

〒105-0003
東京都港区西新橋3-23-5 御成門郵船ビル13F
TEL：03-3459-1228
FAX：03-3459-9405
http://www.jvia.gr.jp

公益社団法人日本表面真空学会

〒113-0033
東京都文京区本郷5-25-16 石川ビル5階
TEL:03-3812-0266
FAX:03-3812-2897
https://www.jvss.jp/

組織委員会

●日本真空工業会　展示会委員会

担当理事	佐藤 弘悦	佐藤真空（株）
委員長	北村 歩	日立造船（株）
副委員長	坂口 文哉	キヤノンアネルバ（株）
副委員長	関谷 恵介	（株）岡崎製作所
	吉澤 秀樹	（株）アルバック
	黒田 隆史	（株）島津製作所
	木場 義和	アルバック機工（株）
	上原 一治	（株）シンクロン
	三澤 啓一	日本電子（株）
	南条 祥成	コスモ・テック（株）
	岩原 則生	芝浦メカトロニクス（株）
	野口 尚也	日刊工業新聞社
フォーラムセミナー小委員会委員長	宇都宮 信明	佐藤真空（株）

●日本表面真空学会　真空展ワーキング

産学連携委員会委員	吉田 秀樹	（株）テクノポート

出展のお申込み・問い合わせ先

「VACUUM2019真空展」事務局　日刊工業新聞社 イベント事業部

〒103-8548　東京都中央区日本橋小網町14-1　TEL：03-5644-7221　FAX：03-5641-8321
E-mail：j-event@media.nikkan.co.jp　URL：https://biz.nikkan.co.jp/eve/vacuum